

令和8年度 第1回帯広市民文化ホール運営審議会 議事概要

開催日時 令和8年5月13日（水）18時30分～19時10分
場 所 帯広市役所本庁舎10階 第2会議室
出席委員 折笠委員、川田委員、北野委員、久保（睦）委員、田本委員、千葉委員、富永委員、山本委員 8名
事務局 米通生涯学習文化課長、廣山主任補、関口主任補

【内容】

1 開 会

2 議 題

（1）帯広市民文化ホール使用料の改定について

【説明】

新たな料金設定の検討状況について事務局より説明

【質疑応答】

（委員）

・具体的な料金については現時点で示されないということであれば、値上げの事前報告ということか。

（事務局）

・具体的な料金については今後の審議会でお示しする予定。検討状況としては、物価や燃料費の高騰の影響が非常に大きいというところ。近隣三町、他都市の音楽ホールや劇場などの類似施設を鑑みながら、検討を進めている状況である。

（委員）

・イベントでは全日使うことが多い。例えば大ホールを使用するときには30%値上がりし、全日割引料金も廃止されるとかなりのコスト高になるイメージがある。光熱費や冷暖房に経費がかかるのもわかるが、ただでさえ駐車場問題もあり、他のホールと比べて割高になったときに、イベントを開催しにくくならない何らかの配慮があると嬉しいところ。

（事務局）

・全日割引料金を廃止することにもなう影響について、コスト回収率100%を目指すところは理想である一方、その分を皆様の利用料金に転嫁すると過大な料金になってしまうというのはご心配のとおり。その際に「値頃感」が大切ではないかと検討しているところ

ろ。維持経費が上がっているという点と、類似施設と比べて利用しにくくならないかという点の双方をみながら、バランスの取れた料金を設定していきたいと考えている。

(委員)

- ・ 使用料だけではなく暖房費もあがるということか。
- ・ 物件料は対象に入っていないか。

(事務局)

- ・ 暖房費についても検討対象に含まれている。
- ・ 物件料については含まれていない。

(委員)

- ・ 直接関係はないと思うが、入場料によっては割引率があると思う。例えば、入場料千円までの割引を二千元までにすることによって、公演する団体の収入が増え、増えた負担分を賄えるのではと考える。鑑賞者も負担することで団体が助かると思うが、規定改正にはハードルが高いか。
- ・ 使用料があがるということは支出が増えるということなので、主催者としては当然入場料を上げたいところだが、上げると減免対象にならないため上げにくい。千円の壁が大きいのと思うが、並行して検討していただくと金額をあげやすくなるのでは。

(事務局)

- ・ 文化ホールの運営という面ではそういった視点もあるかと思う。文化ホール条例で定めている基準額のため、状況の変化を捉えながら、我々も勉強して参りたい。

(2) その他

【説明】

- ①主催者駐車場の利活用の拡充、②旧長崎屋跡地の再開発の近況、③令和9年3月の休館について事務局より説明

【質疑応答】

- ・ 特になし

3 閉 会